| 学校番号 | １０１ |
|---|---|

# 令和８年度　教養科

| 教科 | 教養 | 科目 | （学）ワールドスタディ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 自主教材 | | | | | | |
| 副教材等 | 自主教材 | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、国際理解を主軸におき、その課題に対する見方、考え方を思考していく。
そのうえで、特に重要視するのが、
①　多面的にみる。②批判的にみる。③物事の背景を考える。④他者と協力する力を身に着ける。
です。グループやペアでの議論を通して、協働で課題に取り組み、プレゼンテーションを行っていきます。

## 2　学習の到達目標

【①知識及び技能】国際社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，国際社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【②思考力・判断力・表現力等】国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や国際社会に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。
【③学びに向かう力人間性等】よりよい国際社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ○国際社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，国際社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | ○国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や国際社会に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している | ○よりよい国際社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | なぜ国際理解が必要か | ・「100 人の村」のワークショップなどの体験<br>・対話型鑑賞法<br>・「世界一大きな授業」への参加<br>・対話型鑑賞法<br>・SDG's に基づいたミニ課題研究で、スキルを身につける。 | a: 国際社会の役割と，それにおける社会の人々の選択について，理解している。さまざまな国際外交の失敗の事例と，その弊害について，理解している。<br>b: 国際社会はどのようにして作られたのか，具体的な歴史を取り上げて多面的・多角的に考察し，表現している。自立した国際社会の形成者としてどのような行動をとるべきか，多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c: 国際社会のしくみと、日本社会の特徴について、実生活と結びつけて、意欲的に探究している。 | 自己評価<br>小テスト<br>レポート<br>ポスター | 自己評価<br>小テスト<br>考察ワーク<br>プリントの振り返り<br>レポート<br>ポスター<br>提出ノート | 自己評価<br>考察ワーク<br>学習状況<br>プリントの振り返り<br>レポート<br>ポスター<br>提出ノート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 身近な国際協力について考える | 1．「100人の村」のワークショップのﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰになろう<br>2．国際協力員へインタビューをしよう<br>3. 中学生授業体験に向けて、生徒自らが授業をデザインする。<br>4. 次へ活かせるための評価の方法を考える<br>5. インタビューの方法を考える<br>6. 問いを考える<br>7. 資料をあつめて理解を深める | a: 諸課題の探究にあたって，国際社会の動向に着目したり，国内の諸地域や諸外国における取り組みなどを参考にしたりしている。<br>b:社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探究する活動を通して，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明，論述している。<br>c: 取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代の国際社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。 | 自己評価<br>小テスト<br>レポート<br>ポスター | 自己評価<br>小テスト<br>考察ワーク<br>プリントの振り返り<br>レポート<br>ポスター<br>提出ノート | 自己評価<br>考察ワーク<br>学習状況<br>プリントの振り返り<br>レポート<br>ポスター<br>提出ノート |
| 3学期 | 1年間で何を学びえたか | 1．ワールドスタディで考えたことをまとめよう<br>2. グループごとのインタビュー<br>3. 多面的な視点、批判的な意見を掘り下げるためのワーク<br>4、グローバル社会の一員としての視点を持つための探究活動 | a: 諸課題の探究にあたって，国際社会の動向に着目したり，国内の諸地域や諸外国における取り組みなどを参考にしたりしている。<br>b:社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる国際社会の諸課題を探究する活動を通して，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明，論述している。<br>c: 取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代の国際社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。 | 自己評価<br>小テスト<br>レポート<br>ポスター | 自己評価<br>小テスト<br>考察ワーク<br>プリントの振り返り<br>レポート<br>ポスター<br>提出ノート | 自己評価<br>考察ワーク<br>学習状況<br>プリントの振り返り<br>レポート<br>ポスター<br>提出ノート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度